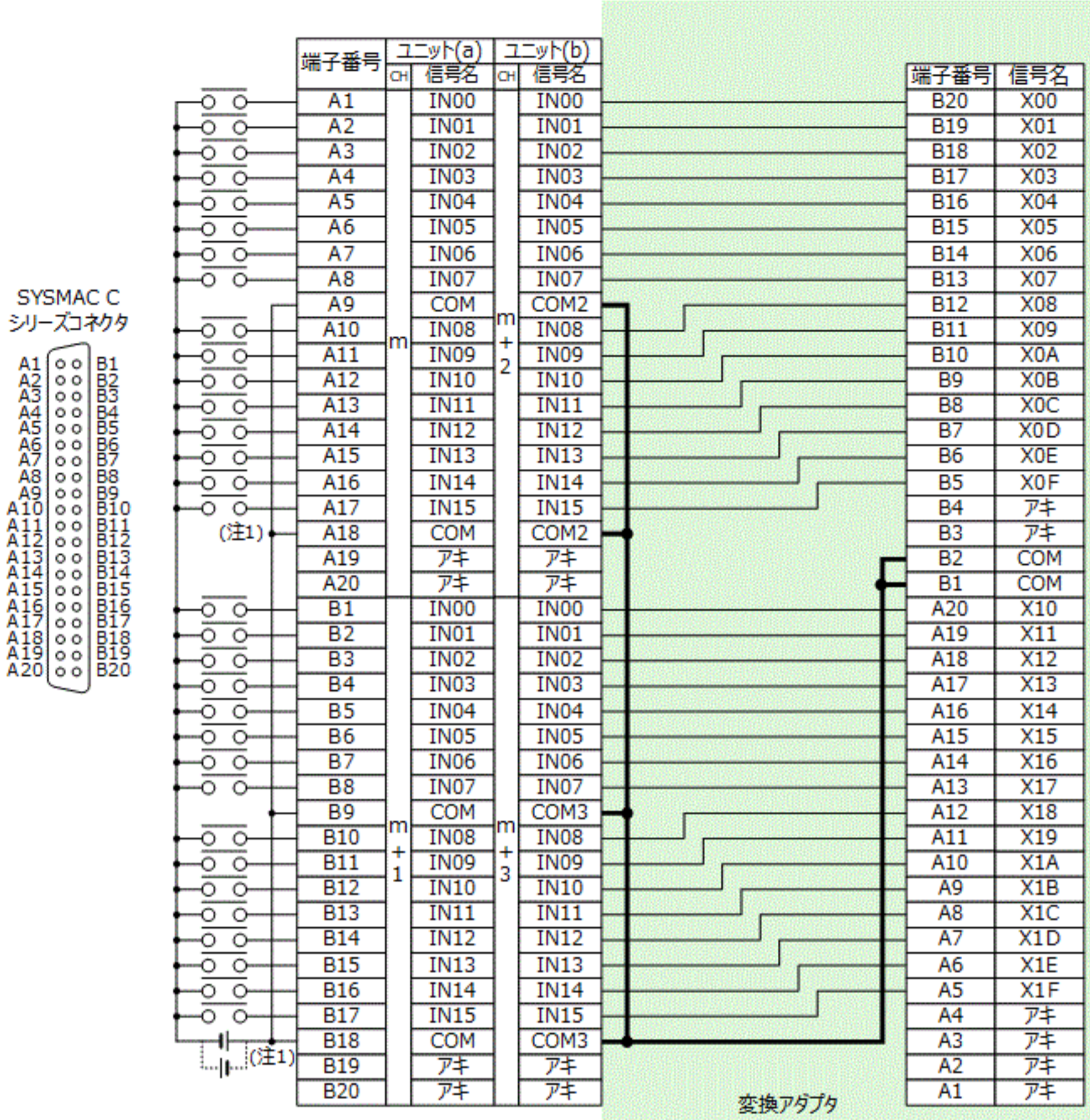


(a) C200H-ID216/C200H-ID218/CQM1-ID213/CQM1-ID214⇒RX41C4/RX41C6HS  
CQM1-ID112⇒RX71C4の場合

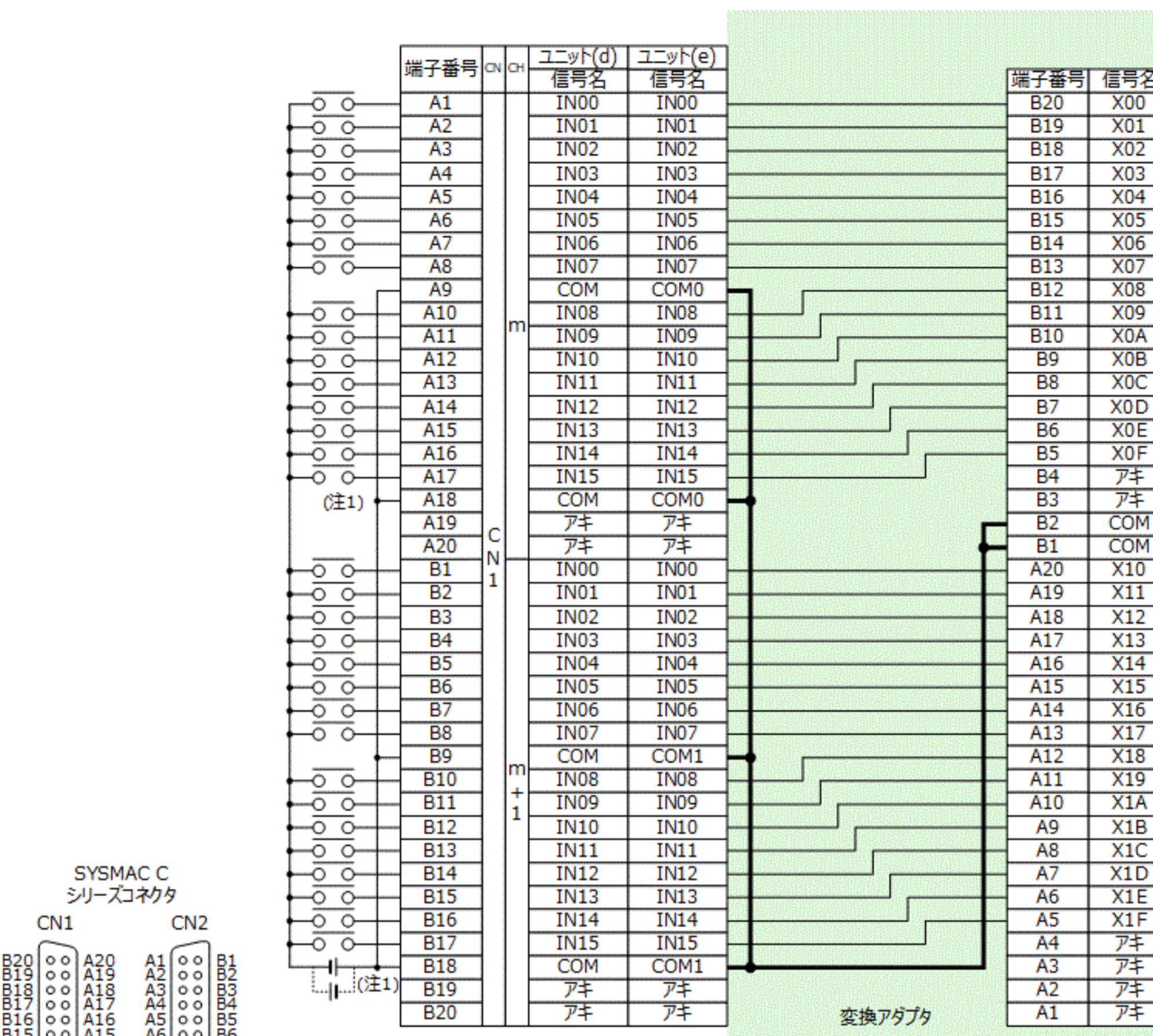
(b) CS1W-MD261(入力部)/CS1W-MD262(入力部)⇒RX41C4/RX41C6HS  
CS1W-MD561(入力部)⇒RX61C6HS/RX71C4の場合



(注1) CS1W-MD261(入力部)/CS1W-MD262(入力部)/CS1W-MD561(入力部)からの置き換えにおいて、1コモンあたりの点数が、16点/1コモン(2回路)→32点/1コモンとなるため、既存ユニットのコモンを分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。

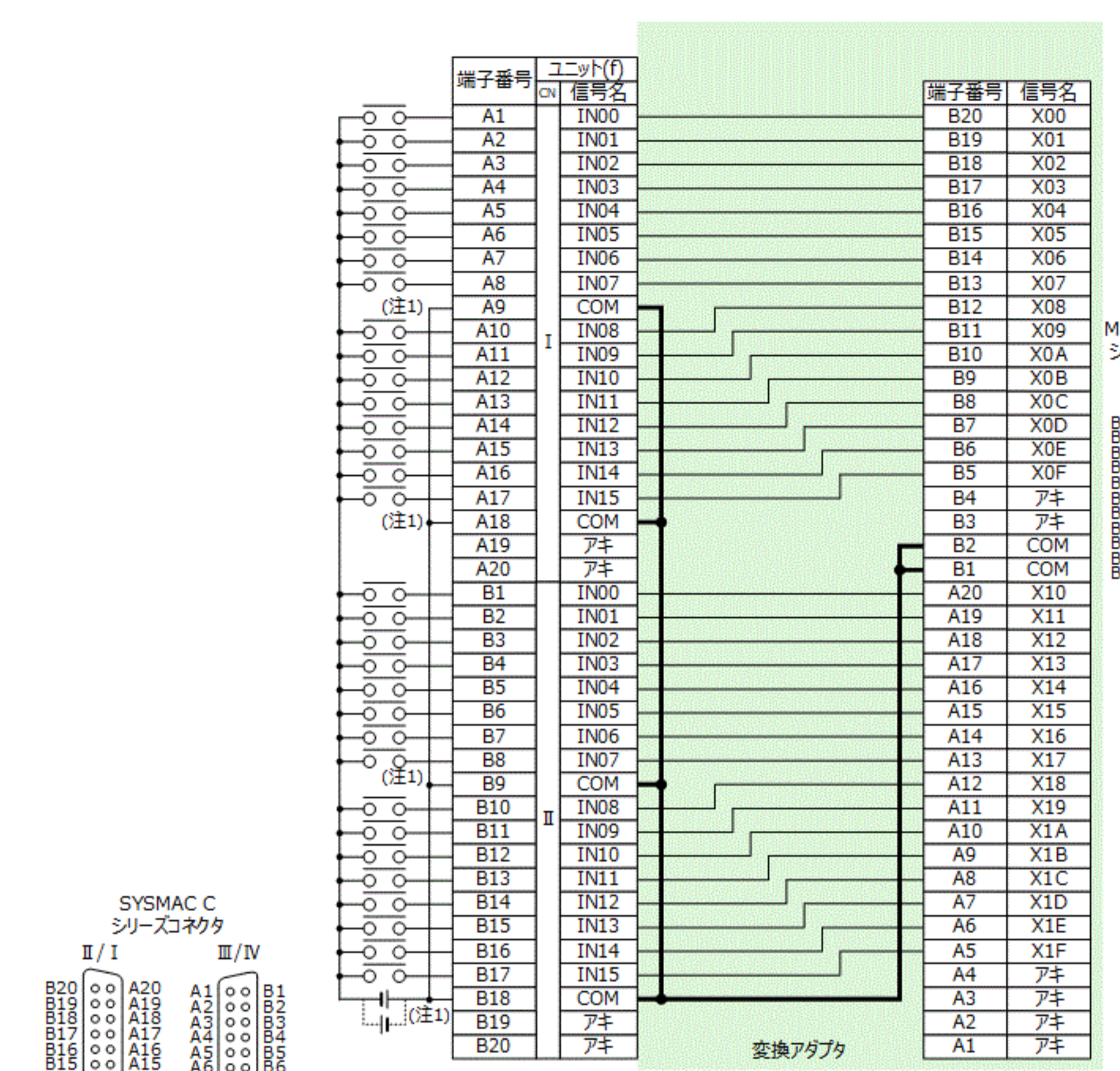
(c) CS1W-ID261⇒RX41C4/RX41C6HSの場合

(d) C200H-ID217/C200H-ID219⇒RX41C4/RX41C6HS  
C200H-ID111⇒RX71C4の場合



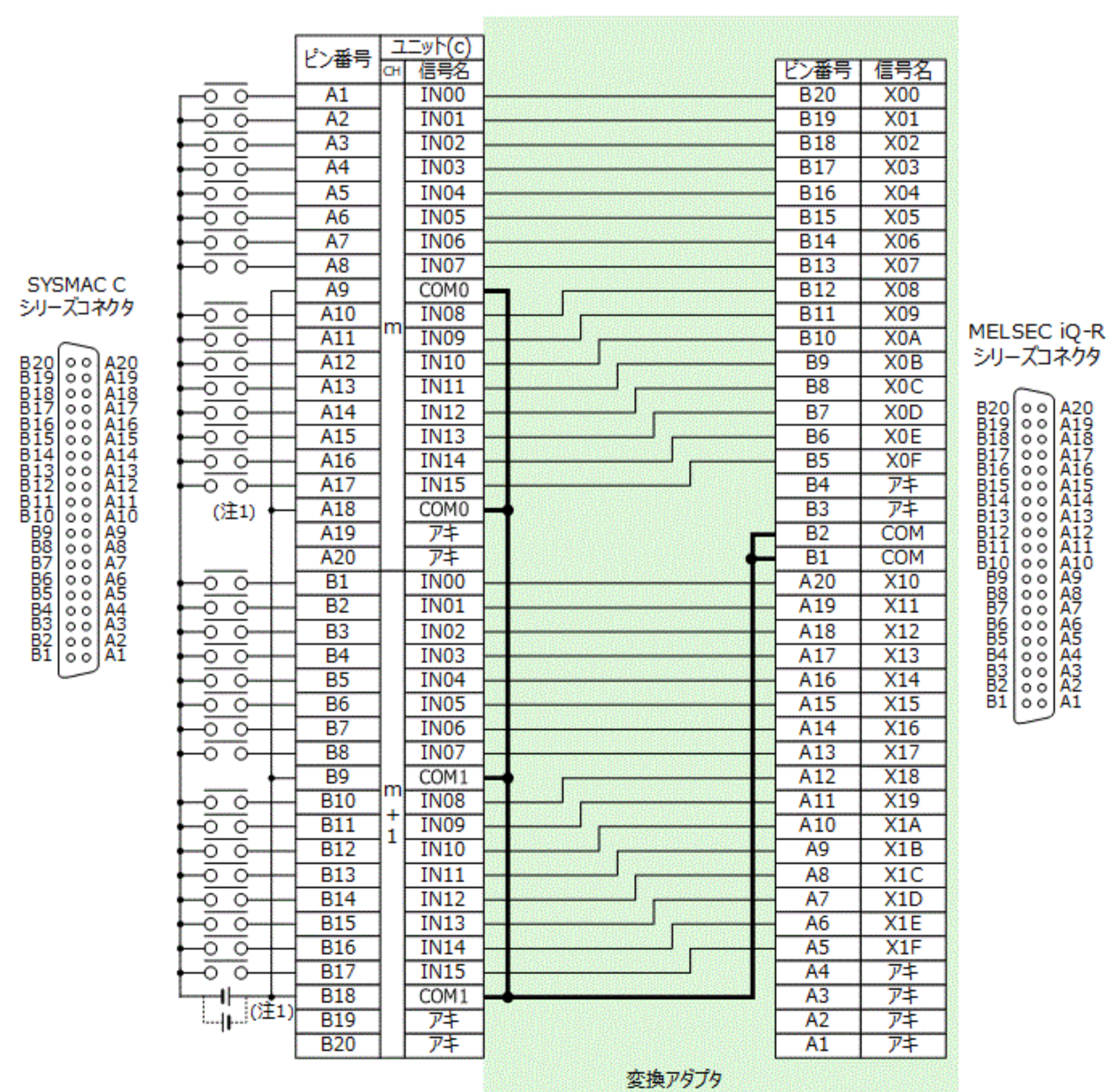
(注1) 1コモンあたりの点数が、16点/1コモン(2回路)→32点/1コモンとなるため、既存ユニットのコモンを分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。

(e) CS1W-ID261⇒RX41C4/RX41C6HSの場合



(注1) 1コモンあたりの点数が、8点/1コモン(8回路)→32点/1コモン(2ユニット)となるため、既存ユニットのコモンを分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。

(c) CS1W-ID231⇒RX41C4/RX41C6HSの場合



(注1) 1コモンあたりの点数が、16点/1コモン(2回路)→32点/1コモンとなるため、既存ユニットのコモンを分離して使用されている場合は、配線の変更が必要となります。